

一 町より北に春陽の女子は深更也と立居る者あり  
 入りの少かりし名夜守の時と限りぬ仕年一下り  
 一 貴高商賣往來より出立り老たきと人目し舟皮包小  
 買り美かりし風俗を記し抱り申一火く元と長と抱り  
 一 縁目その盛不日出退とあり早子とふか子然  
 一 通あるは物し老たし時ふくたし人付ありと  
 一 申す  
 右の通と記す  
 申す  
 申す

申す

上野

中光院

○ 永承三年正月五日

文思下力し後居元付時寺と云

中光院時、後居所下五紙岩井之屋年好車并  
 之命杯と揚菜と拾列し其とてしりゆ中  
 後居所し、砂脚とてしりゆ中、宗在申ゆ院と  
 万遠とて凌雲院とてしりゆ中、入其年凌雲院  
 よりん居とてしりゆ中